

白岡ニュータウン自治会だより

8月盛夏号

平成14年8月5日

白岡ニュータウン自治会発行
会長 岡田 光 旦挨拶と花と緑の
明るいニュータウン

<私の視点>

『ニュータウンと郷土』

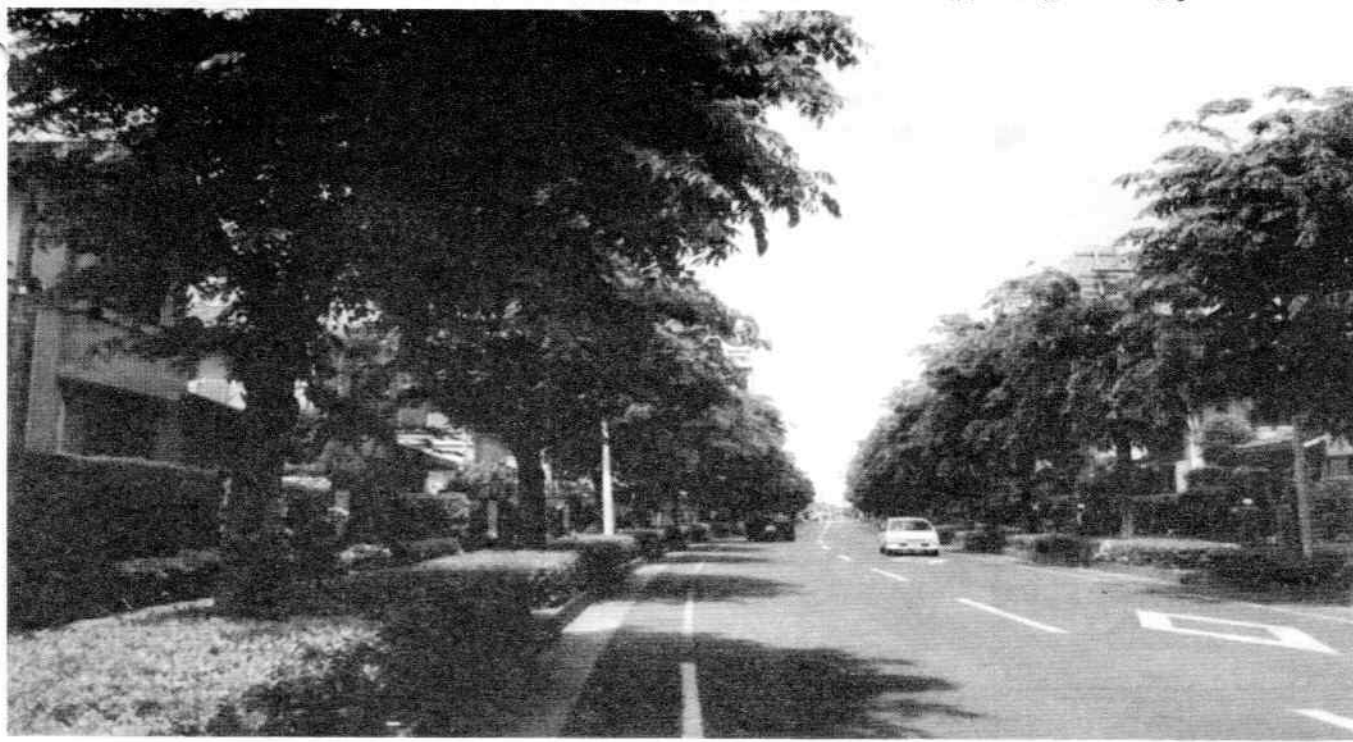
笠 島 準 一

ふとした偶然から白岡ニュータウンの中央通りを車で通過したとき、その整然とした美しい街並みを見て、このような所に住んでみたいと思ったのがつい先日のように思い出される。引越して5年目に入ったのだが、やはり思った通りの住み心地の良さである。交通至便、閑静で緑に恵まれた環境が気に入っている。

私の出身は大阪で、少し環境が異なっている。高校生まで大阪に住んでいたのだが、まさに「大阪弁」と「六甲おろし」の渦の中だった。学校にも吉本出身者のような教師がいて、授業の終わりを告げる鐘が鳴ると直ちに、何をしゃべっていても、話している途中であってもピタリと話を止め、「起立、礼」で教室を去っていく先生もいた。(決してこれは普通ではなく、あくまでも例外的な先生だったのだが。)このような雰囲気は東小学校や白岡高校では想像もつかないことだろう。おそらく異文化社会のこのように思われるだろう。

でも、言葉の違い、熱狂的に応援するチームの違い、あるいは学校の雰囲気が異なっている、何か白岡には私の子ども時代に見たような景色、会ったようなおとなの人たち、そのような人たちから味わった人情のようなものを感じる人が多い。散歩の途中に緑が広がる田畑を見ると、小学生の頃だったか、雨が降った後のぬかるみに足を取られながら歩いた畦道が思い浮かんだ。柴山沼で釣りをしている人を見たとき、釣竿を地面に固定しておいて、浮きが引くまでザリガニ取りをしていた近所の池のことを思い出した。スーパーではなく、米穀店で米を買ったときの雰囲気には、配給米時代のなつかしい店の人とのやり取りが感じられた。高岩公園は近所の兄貴分のお兄さんと、あるいは子どもたちと、野球をしたりトンボ取りをしたりして夕焼け小焼けで日が暮れるまで過ごした、まさに南田辺児童公園(以前、大阪の実家の近くにあった公園)そのものである。夏祭りでは河内音頭は聞こえなくても、白岡音頭は祭りの郷愁を彷彿させ、故郷とニュータウンの心の距離を無くしてくれる。

先ほど、私の故郷である大阪は異文化社会と思われた方もあるかもしれないが、中心的な部分では決して異文化ではない。日本らしさ、日本の伝統がそのまま共有されている。ニュータウンには日本の各地からの人が集まっているが、その人たちも白岡の街の中に自分の故郷を見出し、そこに一服の安堵感を味わっておられるのではないだろうか。白岡ニュータウンは白岡の昔ながらの伝統の良さと、東京を含めた日本各地の伝統の良さが共存し、出身はどこであっても住み心地の良さが感じられる所だと思っている。





♪♪♪ “夏休みを迎えて……………私は思う” ♪♪♪

【子供部会からのお願い】

子供部会理事 甘利 健一

8月24日（土）に白岡東小の体育館でニュータウンの皆さんを主体にした“子供お楽しみ会”を開催します。

ニュータウンができてから10年以上経過し、この間に自治会として子供さん向けのイベントを考えられ実行してきました。“子供みこし”あり、“アートパルーン”あり、様々なイベントをこなしています。

今回、私と久田見さんが理事となり、このイベントに挑戦しています。私なりのビジョンも在りましたが、遊びを主としたお楽しみ会という事でまとまりました。盆踊りの日と同日ですので、「お魚天国」「幸せ恐竜音頭」といった子供向けの踊りも練習して当日はちびっこ達に活躍してもらえば盆踊りも一層盛り上がることでしょう。

我が家の息子はもう成人しており、今の子供は何を考えているか、何をしたいのか全然わかりません。大人達からの一方通行ですが、このイベントを通して何か親の愛とか、友情とか、社会のしくみとか、少しでも子供達にわかってもらえれば一方通行でもよいと思っています。

しかし、あくまでも主役は子供達ですから、たくさん集まってくれることを期待しています。お父さん、お母さんのご協力もお願いいたします。

夏休みの最後の思いで作りに私達、子供さん達、一緒に一生懸命遊んでみましょう。大勢の参加をお待ちしています。

【夏休みに向けて】

新白岡2-12-10 中野 昌子

新白岡に戻ってきてようやく2年。天候に恵まれない土地で生まれ育った我が家の子どもたち（5歳と6歳）にとって、四季ごとに変わる自然と、さまざまな施設・イベントの豊富なここは本当に楽しい場所です。

長い夏休みには、ふだんの学校や幼稚園生活とは違う、ここならではの経験をたくさんさせてやりたいと考えています。まずなんといってもプール。白岡の海洋センターでたっぷり時間をとって泳ぎの練習。屋根つきなので親にとっても疲れすぎず、何も売っていないのでお茶ぐらいもっていけば節約にもなります。たまに友達と行くときは久喜のプール。チョコクロワッサンを買ったり、流れるプールでサービスすると彼らにとっては特別な一日となります。それから一日たっぷり外遊び。内牧のアスレッチや池でどろどろになってもOK。花咲の水上公園やネーブルパークで水浸しの一日も何回かさせてやりたい。

夜はもちろん新白岡祭り、久喜の提灯祭り、そして今年は宮代の山崎山トラスト夜の生き物探検とかも参加できるかな。ちょっと夏バテ気味になったら、加須の県民活動センターのシネマランド（子供向けの映画が週末上映されます。）宮代進修館でのちびっこ演劇パーティ、白岡児童館のハリーポッターの券がとれなかったの、栗橋イリスホールでの上映に行くなど。大きな映画館で並ばなくても、各自治体や図書館で小さい子にとっては十分楽しめる催しです。地域の人たちの輪にも入れて、こどもたちにとっては貴重な体験です。遠出はお父さんにまかせて、白岡周辺で楽しく（母にとっては無理なく、安く）夏休みを過ごせますよう作戦を練っているところです。



【夏休み、親として思う】

新白岡 2-15-9 河本 園生

新白岡に住み始め、今年で10回目の夏休み。子供たちが小さかった頃は、家族で自由に過ごせる貴重な時間をワクワクしながらスケジュール。学校では団体生活という大事な事を学んでいます。家庭では個性を大切に育てたいもの。旅行に出掛ける時は、その夏にしかできない体験をたっぷり盛り込み、楽しむだけでなく達成感のある計画を心掛けました。どこかに特別出掛けなくても、この町で経験できる事はたくさん。危険な時には声をかけて下さる地域の方に見守られ、みんなのびのび育っています。回りの方々の広い心に感謝！

だんだん子供たちが大きくなると、それぞれの予定が入ってきました。新白岡は、子供たちの成長にとって恵まれた環境で、スポーツが盛んです。我が家の息子たちはジュベニールというサッカーチームに入っていましたし、娘は白岡東バレーに入り、夏休みなどの長期休暇にも、コーチの方々の熱心な指導が受けられます。そのお蔭で、長い休みもリズムある生活ができ、チームも強くなり、昨年次男のチームは県大会でベスト8に、娘のチームは新人戦で県ベスト16まで進みました。

子供たちがいろいろな意味で成長する夏休み、地域の方と保護者が協力して子供たちの健全な生活を守ってあげれば、と思います。

そして子供たち自身も、年下の子を守り、年上の人に優しく接する事ができるように育っていったら、と願っています。さて今年はどうな夏休みになるのでしょうか？



【夏休みを迎えて】

新白岡 2-26-10 高校2年生 高倉 啓太

僕の通っている高校では、夏休みに向けて「ことしの夏はこれをやるぞ！」といった目標をそれぞれがたてています。それは勉強やそれぞれの部活動についてのものであったり、もちろん遊びについてであったりもするでしょう。何に対しても一生懸命な奴が集まった学校ですから、夏休みが明けて久しぶりに会ってみると何かとんでもないことをやってのけた奴がいたりして、僕としてはそれを見るのも楽しみなのですが、人を見るだけでは面白くない。なにか自分も、ひと夏をかけられるものを見つけたい。そう思って考えてみると、頭に浮かんできたものは意外なことに、本を読むことでした。

勉強、部活、校内の行事。そのどれにも全力を尽くす校風の中にあってそれぞれが自分の得意な分野の活動を楽しんでいるような学校で、では自分が今したいことは何なのだろうかと考えていると、高校に入学してから読書から遠ざかっている自分に気がきました。先日学校図書館の夏休み期間中の貸し出し冊数が無制限になったので、早速何冊か借りてきて、気分合ったものから読み出しているところです。

夏休み。同じだけ与えられた時間を長く使うことができるかどうかは、自らの双肩にかかっているのでしょうか。本を読んで読んで、夏休みの終りに自分は何を得られているのでしょうか。



《コラム》

“この町・この街” ……転勤族としての終着駅……

加藤 満

日本は、面積たかだか38万平方キロ。その中に1億3千万の人口があり、その人たちの大半は日本の全体面積から見ると、あまり広いとは云えない「平地」特に関東平野中心とした特定の地域に集中しています。

世界のいわゆる大国（主要国）といわれる国々と比較すると国の面積はもとより特に、産業や文化を形成していく「フィールド」が格段に狭いことは事実です。しかしながら、南北、東西にのびる細長い小さなこの島の何と素晴らしいことか。

北海道から沖縄まで、季節季節の変化に富み、雪国から常夏の国まであり、自然や季節の変化に合わせた数多くの木々や花などの植物が存在し、島を取り巻く海から山の山頂まで貴重な動物も住んでいる。一面には、政治の貧困や人間の驕りが自然を破壊し続けてきていますが「まだ」こんな自然に恵まれた国は珍しい。だからこそ「住めば都」などと言う言葉も生まれてきたのかも知れません。

私は北海道の最北端に近い町で生まれ育ちました。従って「雪国」は自然に受け入れることができます。一般的に北海道は国内では自然環境が厳しいといわれますが、経験から云わせて戴くと、北海道内の中小の町5カ所くらい転勤しましたが、2年もその地に住むと永住しても良いと思うような気になったものでした。

さて、北海道から東京に転勤になり、その後も2、3年毎に全国の主要都市への転勤回数が増えるとともにお定まりの「単身赴任」となり、3人の子供たちも当然近郊の小学校から大学まで通い“成長”することになりました。就職も当然のように「関東」になってしまいました。そうすると、今まで歩いてきた自然豊かな、人情味豊かな“彼の地”を懐かしみながらも、子供中心の親バカが優先してしまい、この新白岡に住まわせて戴くことになりました。

かって、「冬には雪が降り、山があり、きれいな川が流れ、緑豊かな山麓にログハウスを建て、思い切り自然の一部になって暮らしたい。」などと夢見ながら、結局は現実に流されてしまっている自分を恨めしく思いながら、通勤電車で揉まれる毎日ですが、やはり、帰ってくる家そしてその街が静かで自然豊かなこの地、白岡ニュータウンに住んで、季節を問わないオールラウンドの山歩きで自然に溶け込んでいることを理由に、自分に言い訳しているのかも知れません。



点 描

……蝉……

石野 尋 雄



【今年の夏は本当に暑い。梅雨明け後は晴れ続きで、背丈もあるヒマワリと真っ赤なハイビスカスが庭中いっぱい咲いた。庭の中では、アブラ蝉・ニイニイ蝉・ミンミン蝉・ツクツクボウシの合唱である。あ、ヒグラシもやって来た。うーん！いいハーモニーだなー。】

ああ！ようやく理想の夏がやって来た。何だ？夢か？

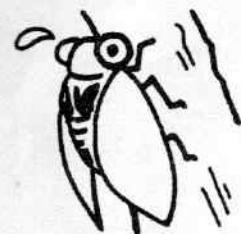
自宅の庭の土から出て来た蝉が、自宅の庭木で鳴いているのを聞くのは、何とも優雅で優越感がある。

少年の頃、蝉の幼虫を捕まえると、とても嬉しかった。……蝉がらに中身？がいる？……数時間後には脱皮してしまうものが、ここに入っている。何か心踊るような不思議さを感じながら、手の平に這わせて、動いているのと中身の重みを確かめていたものである。

ツツジやサツキは、夏のうちに消毒をマメにすると花付きが良くなる。

今年は怠けないよう心掛けた。しかし、これで来年以後……

夢の蝉の数が減らないだろうか……？？？



「緑化規約等に関するガイドラインのその後」

企画部理事 藤嶋 進

去る7月4日、宇都宮市内で、隣家住人を散弾銃で殺傷し、本人は自殺するというショッキング事件が発生して、報道では隣家間のトラブルが原因とのことで、更に衝撃を受けた方も多かったのではないのでしょうか。

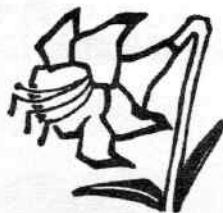
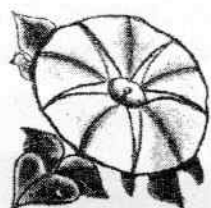
本年4月「緑化規約等に関するガイドライン」を発刊配布致しましたが、読まれましたでしょうか、作成に携わった者として気になっております。

本ガイドラインは、自治会の規約である緑化の増進を遵守いただく目的に入居者アンケート調査を実施致しましたが、集計のなかで下記のような緑化規約に関連付けた隣家との問題指摘が多くありました。

- ①飼猫・犬が庭に来て糞尿されるのでブロック塀にしてみたい。
- ②前に路駐されるので庭側に車庫を作り止められないようにしたい。
- ③夜間よく窓を開けたまま楽器を使われるのでその窓の前に塀を建てたい。
- ④南面生垣の隙間から見える隣家の雑物を消す為に塀にしたい。

明らかに規約違反の方は、早期に改善いただくことは当然ですが、この機に規約違反をされていない方も、今一度、隣家に不快な思いをさせていないかチェックされてはいかがでしょうか。

いたましい事件で、なくなられた方々のご冥福をお祈りいたします



ラジオ体操のお誘い



社会福祉協議会白岡東支部
 支部長 盛合兵三
 白岡東小学校PTA
 会長 片川朱実

**8月の最後の一週間、大人も子どもも、みなさん、
 一緒にラジオ体操をしませんか。
 都合のつく方はふるってご参加ください。**



1. 日 時 8月26日(月)～8月30日(土)

2. 時 間 朝6時20分集合・6時30分開始

3. 場 所 A:けやき公園 B:白岡東小学校 C:くすのき公園
 D:さざんか公園 E:中央公園 F:新井様宅前
 G:もみじ公園 H:さくら公園 I:駒形公園
 J:気賀様宅前空地 K:高岩公園

- *未就学児は保護者同伴で参加してください。
- *会場は11ヶ所設けましたので、自宅に近く往復の道のりが安全な会場をお選びください。
- *ラジオ体操に参加した方には、社会福祉協議会より「参加賞」がです。
- *子供たちの前での模範体操や、参加賞配布のお手伝いをして頂ける方を募集しています。



《少年スポーツ》

『日本チャチャチャ』

ジュベニール白岡会長 原 尻 大 一

「そこだ行け!」「ほらシュートだ打て!」「惜しいー」。6月の我が家はトルシエジャパンの大活躍に喜一憂、テレビの前の特等席は興奮と感動の坩堝と化し、行儀の悪さもなんのその茶碗片手に大応援が繰り広げられました。

長男は「今のスゴクネ?」と怪しげな訛りで歓喜するし、次男はやたら選手情報に詳しく、選手交代の度に解説してくれます。三男は上の二人とは違うチームを応援し存在感を主張します。嫁さんはベツカム人気を横目で見ながら、オーウエンの端正なお顔にうっとりしております。私は「とにかく日本チャチャチャで盛り上がりよう」などとビール片手に訳のわからない事を呟き、我が家は何時の間にか立派なサッカー狂一家になっておりました。家族のサッカーの知識は今や私なぞ足元にも及ばないのが悔しい限りではありますが、考えてみればこんなふうに皆で盛り上がるのも子供達がジュベニールでサッカーに日常的に触れているからで本当にありがたいと思います。

ジュベニールは昨年、初の県大会出場しかもベスト8進出という快挙を成し遂げました。8年前、町外れの給水タワーの空き地で石拾いと一緒に練習を細々とやり始めたころから考えると今昔の感があります。

今年は団員62名、コーチ8名、審判35名で活動しています。個性あふれるコーチ陣が学年にあった練習テーマを設定し、子供一人一人の成長段階に合わせた指導をしています。8月の始めに菅平で合宿もあります。(実は私はこれが何よりの楽しみです……) 高学年になると遠征試合もあります。普段は清楚な奥様お母様達が拳を突き上げて「詰めろ!」

「負けるな!」「当たれ!」などと熱い応援を繰り広げます。一体感を感じる瞬間です。ジュベニールを応援する時にこみ上げて来る気持ちはワールドカップの応援の時と同じです。4年後のドイツは間に合わないかもしれませんが、8年後のワールドカップにジュベニール出身の子がいないとも限らない…中田だって稲本だって小学生の頃、夢をもってサッカーの練習に励んだからこそ代表になれたのだから。熱い夏を元気一杯練習に励むジュベニールの子供達を見ながら、私は心の中で声援し続けます。頑張れジュベニールワールドカップ目指して

「ジュベ! チャチャチャ」。



【 ぼくの夢 】

6年生 豊田 雅 樹

現在のぼくの夢は、サッカー選手になることです。以前からもサッカー選手になりたかったけれど、今回のワールドカップで世界の選手のパスやドリブルを見て、サッカー選手になる夢がますます大きくなりました。幼稚園の先生に、「サッカーをやってみないか」とさそわれたのがきっかけで、幼稚園の年長からサッカーを始めました。今は、ジュベニール白岡というチームでサッカーを続けています。去年の6年生が出場した県大会に、今年も出場できるようにがんばって練習しています。

ぼくは、今回のワールドカップで、心に残ったことは、日本代表の森島選手やブラジル代表のロナウジーニョ選手のように体が小さくても技術などで、世界に通用するのを見て、ぼくも体が小さい方なので、もっと技術をみがいて、Jリーグに入れるように努力していきたいです。そしてぼくの夢をかなえたいです。

【 自分の夢 】

5年生 谷 津 諒

ぼくの夢はサッカー選手になって、ワールドカップにでることです。ぼくが好きなサッカー選手はベツカムです。今、ジュベニール白岡というチームでプロめざし練習しています。だけど最近ジュベニールの五年生は勝ちがありません。これからプロめざしてもっと練習していこうと思います。この前のワールドカップはJリーグよりもりあがって、選手一人一人が上手くて「世界のプロ選手はうまいんだなあ」と思いました。とくにブラジルのロナウドはプレーの一つ一つがすごかったです。得点王になりいろいろなシュートをみせてくれました。ワールドカップを見て、「ワールドカップにでたい」と思いました。そのためにはこれから練習をもっとしていこうと思いました。ジュベニール白岡の五年生の勝ちが最近ないので、今度の試合はぼくが得点にからんで勝ちにいきたいと思います。これから練習をたくさんして、サッカー選手になってワールドカップにでてみたいです。



『夏休み子供お楽しみ会』のお知らせ

自治会子供部会

夏休みの真っ只中です。
今年の子供お楽しみ会は、夏休み最後の思いで作りにと、「盆踊り大会」と共催で下記の通り行います。
みなさん奮ってご参加ください。

記

日時 平成14年8月24日(土) 午後1時から3時(集合12時45分)

場所 白岡東小学校 体育館

- 内容
- ★ ○×式クイズ(全員参加可能)
 - ★ ベイブレード
(自分のベイブレードを持参ください)
 - ★ アートバルーン
 - ★ ストライクアウト
 - ★ パズルコーナー
 - ★ 盆踊りの練習:【お魚天国】

【幸せ恐竜音頭】

※豪華賞品・参加賞を用意しています。

対象 小学生、未就学児(4歳以上)

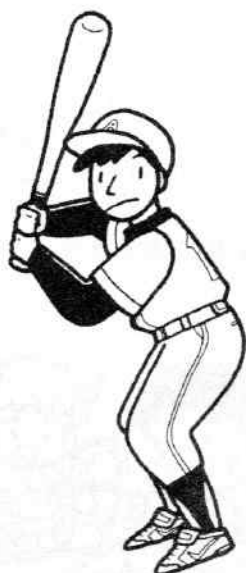


*未就学児(4歳以上)で参加される方は、保護者同伴でお願いします。

*上履き(体育館用運動靴)靴を入れる袋を持参してください。

*体育館は飲食禁止です。

<問い合わせ先> 自治会子供部会 甘利理事(92-9087)
久田見理事(92-9757)



2002年 白岡ニュータウン

納涼盆踊り大会

自治会文化部



主催：白岡ニュータウン自治会

日時：8月24日（土）午後6時～9時30分

（雨天の場合は翌日8月25日（日）同時間に振り替え）

場所：白岡東小学校 校庭

踊り：白岡音頭、白岡それぞれ節、お魚天国、幸せ恐竜音頭、他

アトラクション：太鼓「葎菘囃子会」/バンド演奏「サテンドール」

お楽しみ福引き大会

賞品 特等賞 デジタルカメラ（1台）

1等賞 テレビ（2台）

2等賞 除湿機（3台）

他豪華賞品多数

☆福引の受付は午後7時30分で締め切ります。

☆大型当選賞品は、当日は目録のお渡しとし後日事務局で引き換えます。

<お渡し締め切りは8月31日（土）>

プログラム



ゲーム・・・・・・・・・・1回100円

- 金魚すくい
- ヨーヨーつり
- スーパーボールすくい
- ボール投げゲーム

食べ物&飲み物

- かき氷（1杯）・・・100円
- ジュース（1本）・・・100円
- ビール（1本）・・・200円
- フランクフルト（1本）・・・150円
- やきそば（1皿）・・・250円
- やきとり（3本）・・・200円

《お願い》

白岡東小学校の校庭をお借りしています。次の点にご注意の上、ご協力をお願い致します。

- ・マイカーでのご来場、ペットを連れてのご来場は、ご遠慮ください。
- ・自転車は指定の場所に、きちんと整理して止めてください。
- ・場内での花火、指定場所以外での「喫煙」はできません。
- ・ゴミは「燃えるゴミ」と「空き缶」を区別し、指定の場所に入れてください。

《お出かけの際のご注意》

- ・最近留守宅を狙う空き巣狙いが増えています。お出かけの際には厳重な戸締りをお願い致します。
- ・小さなお子様は必ず保護者が付き添い、混雑した会場では手をつなぐなどしてくれぐれも事故など起こらぬようご注意下さい。



《子供コーナー》

【たのしい夏！】

3年生 溝口 夏澄

私は夏が大好きです。なぜかという、かき氷も食べられるし、うみやプールへいっておよいだり、山のぼりをしたりできるからです。それに夏はやっぱりあつい！！南国世界にいるみたい。

私はよく夏休みにおじいちゃんちにいき、いとこといっしょにいっぱいあそぶのが夏にとっていちばんたのしいできごとです。いとことよくするのは、虫とりやかいぞくごっこ（たからさがしみたいなもの）やたんけんごっこなどよくします。いっぱいあせをかけた後、さっぱりおんせんでひとあびするのがと——つてもたのしいことです。

やっぱり夏は外であそばなくちゃ、家の中はすごくジメジメしてせんぶうき1台じゃたりないぐらいです。そんなに夏はあついし、あせをたっぷりかいてあそべる夏はみんな大好きです！！

【ジブリ美じゅつ館】

4年生 関 菜 摘

もうすぐ夏休みです。夏休みは友だちに会えないのはちょっとさびしいけど、とても楽しみなことがあります。それは、ジブリ美じゅつ館に行くことです。予約チケットを買わないと、中には入れないみたいです。テレビで見た時は、「おもしろそうだなあ。」とか、「今度行ってみたいなあ」とか思いました。それが本当に行けるようになった時は、すごくうれしかったです。美じゅつ館に行ったら、ネコバスに乗りたいです。

今年の夏休みは、ほかにも楽しみなことが3つあります。1つは、わたしの、たん生日。2つ目は、ディズニーシーに行くことです。ディズニーシーも初めて行くので楽しみにしています。あと1つは、お祭です。去年は行けなかったの、今年はずっと行きたいです。

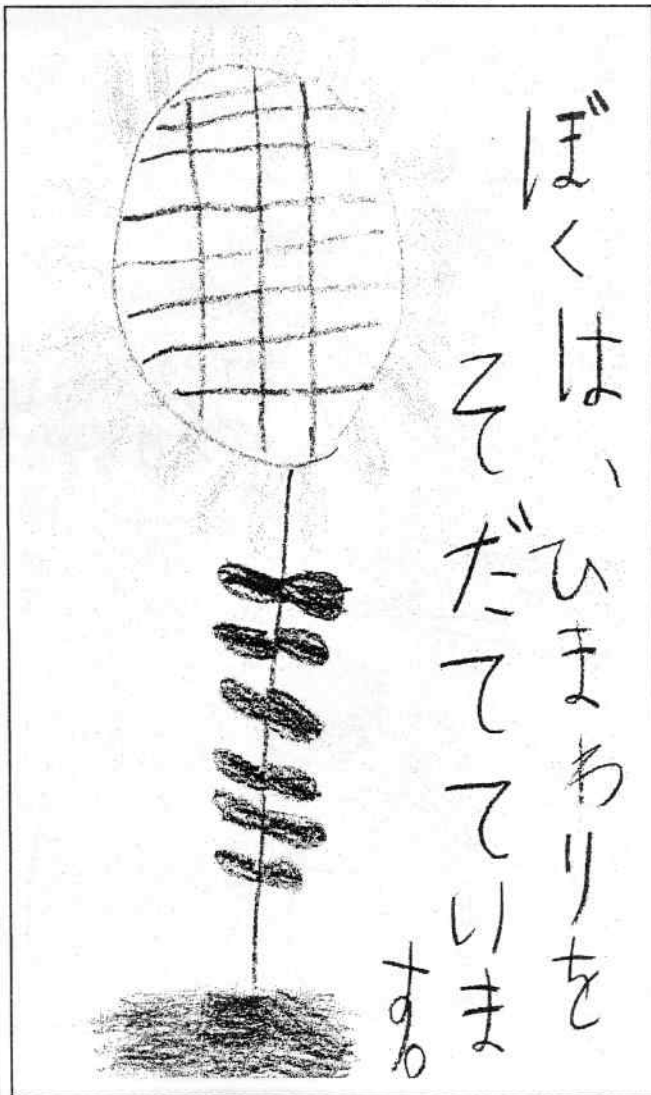
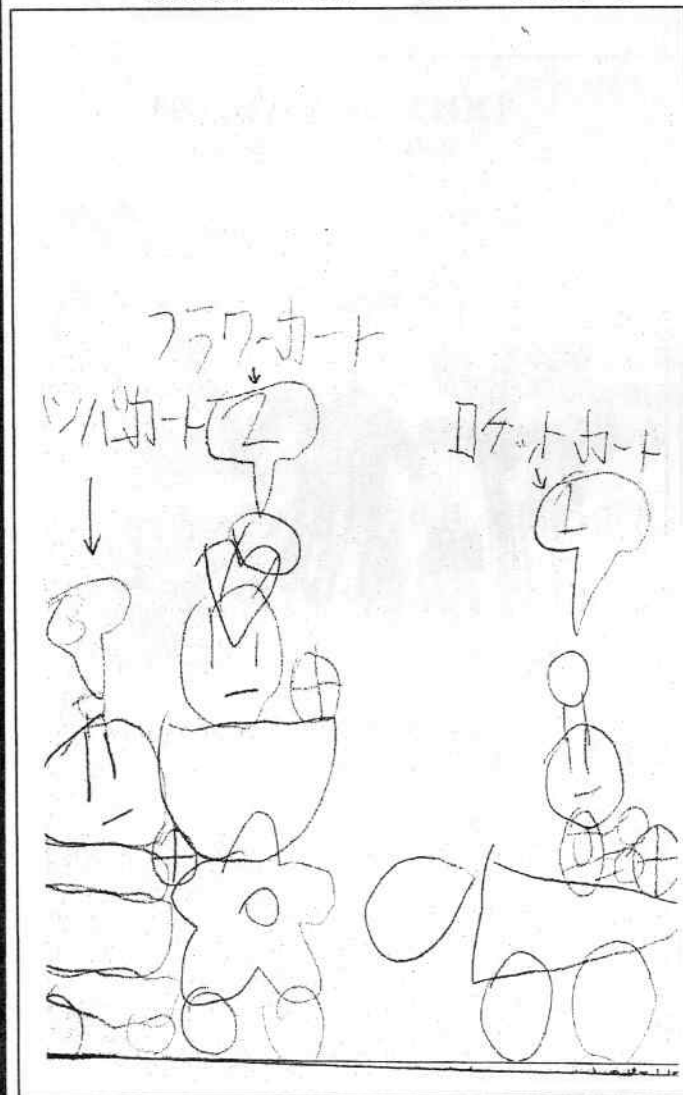
夏休みは楽しみなことがたくさんあります。早く夏休みにならないかなあ。

【ボンバーマンカート】

幼稚園（年長） せき まさひろ

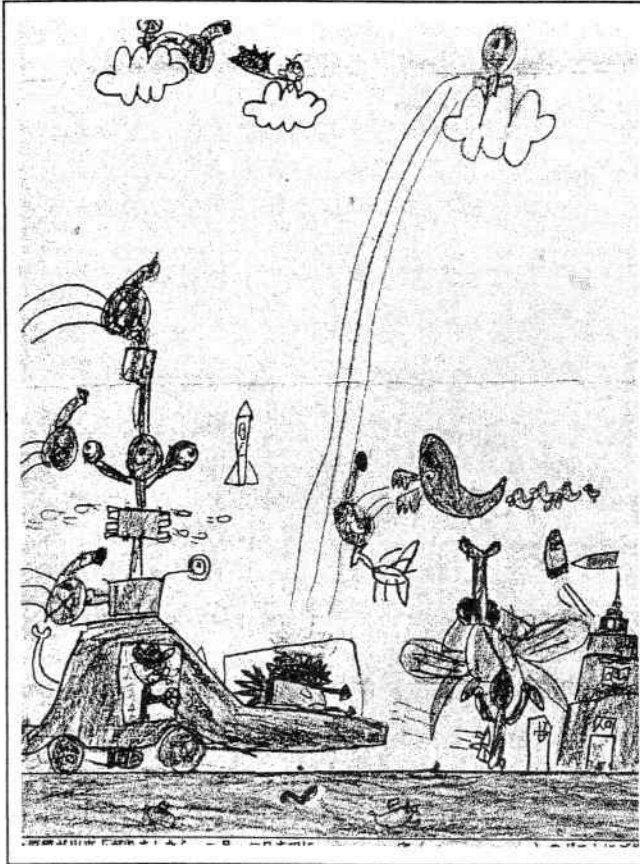
【ひまわり】

1年生 松田 知也



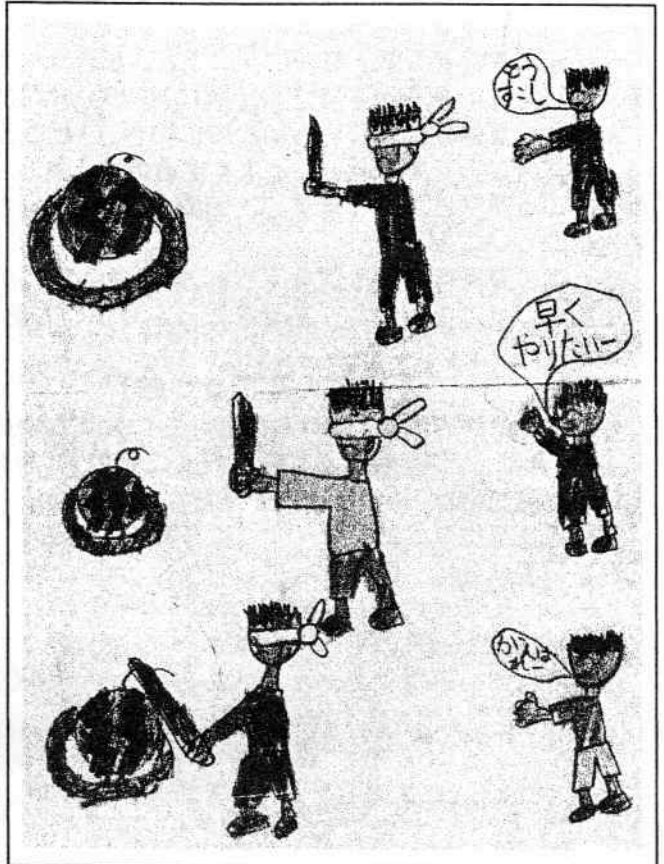
【ゲーム】

3年生 岡田 俊祐



【すいかわり】

3年生 竹中 淳一



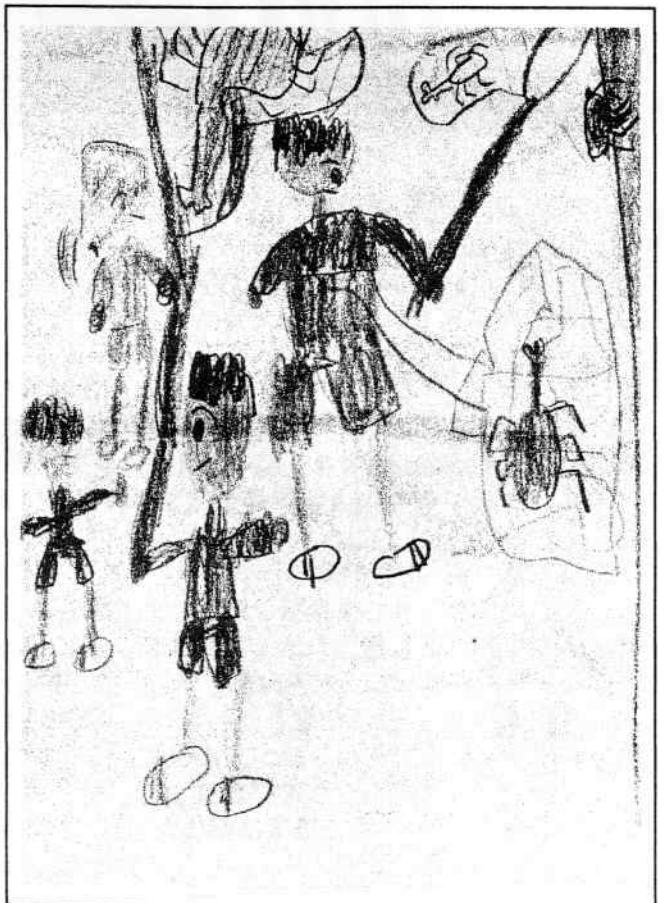
【ワールドカップ決勝】

1年生 車 洗希



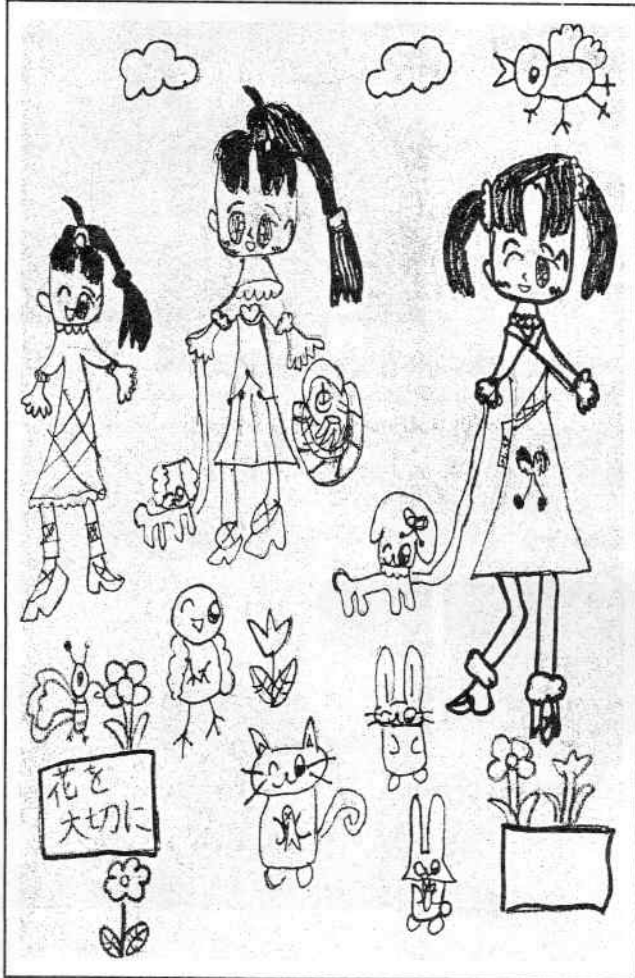
【夏はあついな虫がいる】

1年生 溝口 陽太



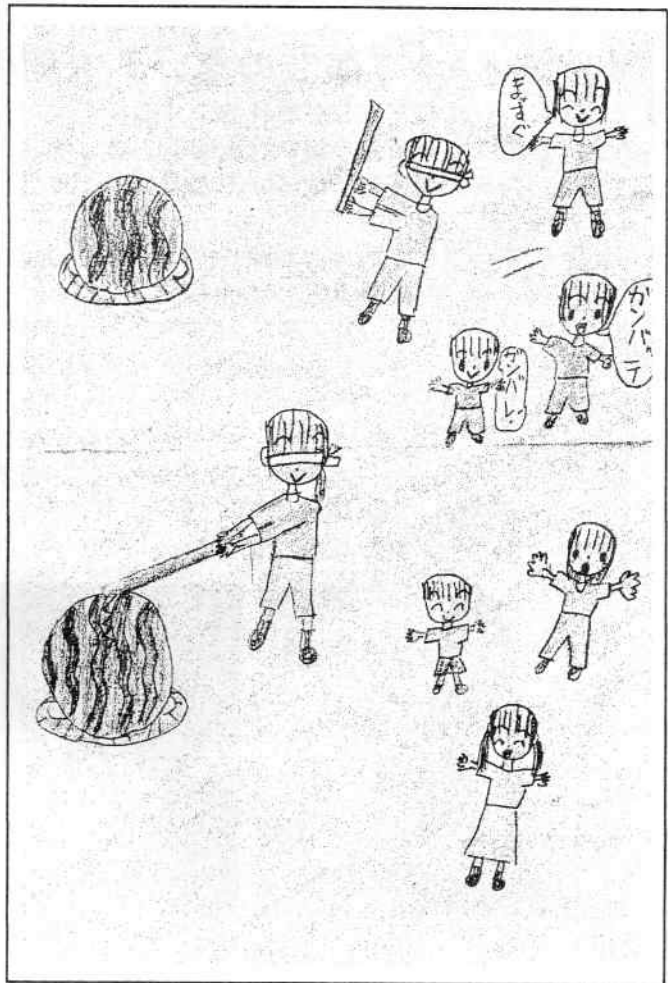
【みんなの広場】

4年生 小野田 有沙



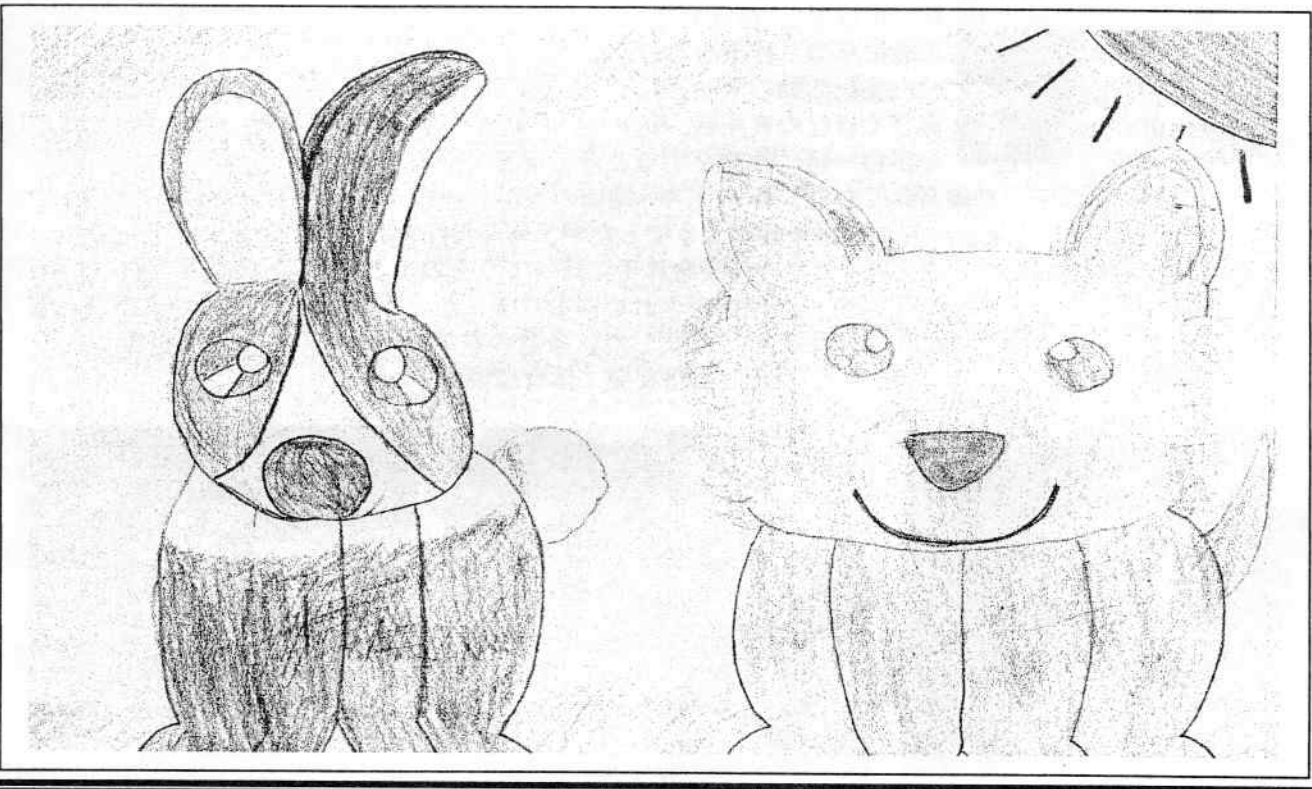
【すいかわり】

5年生 竹中 耀子



【ピースとミルクのニコニコ笑顔】

4年生 田中 翔子



《悠友会コーナー》

・・・各部共活発な活動が行われています・・・

悠友会『演芸の集い』を開催して

梅雨の合間、初夏の日差しが零れる7月6日（土）午後のひととき、高岩天満宮参集所で「演芸の集い」を開催しました。

悠友会会員や高岩親高会、地域のその他の方々62名の参加を得て、盛大な催しとなりました。

河藤芳玉社中の凜とした日本舞踊、プロの歌手三浦風歌さんのパンチの効いた演歌、永年の研鑽を思わせる大塚栄二郎さん（悠友会会員）の寄席芸などなど……感動と笑いの二（ふた）ときでした。

熱心に鑑賞して下さった参加者の皆様、並びに催しの準備と運営に尽力頂いた悠友会理事の方々から感謝します。

これからも悠友会の様々な催しには大勢の皆様が元気で参加くださるようお待ちしております。

余談になりますが……第二の人生は、細事に拘らず楽しく生きようと心掛けたいものです……
「苦は自分で作るもの。楽も自分で作るもの。」

皆様、いつまでも元気で過ごして下さい。

新白岡悠友会 文化部



『白岡東小生徒達との草取り』

梅雨がまだ明けない、真夏日の朝、7月9日（火）、白岡東小学校の校内除草が全校児と、悠友会31名、高岩ボランティア、PTA本部役員も参加で、一緒に草取り作業を行いました。

校内美化活動の発展として、学校周辺を全校児童で清掃し活動して、勤労の喜びや自己の責任感、集団への所属感や連帯感を育てる、地域の人と協力しながら一緒に作業をすることで交流を深める……が、今回の狙いです。

各学年毎に清掃分担場所が準備されており、各クラスへ地域の人が2～3人入り、作業が開始されました。低学年は、“かま”なしで草をぬくことが大変なようでしたが、皆んな汗をいっぱいかきながら、ビニール袋に草がどんどんたまって行きました。ビニール袋を片手に持って草を取るとすぐに入れ、後片付けが非常に良く、見る見るうちに、短時間でしたが、校内がきれいになりました。汗をかき、作業後の冷たい麦茶でのおどをおおしながら、皆で達成感を満喫し終了しました。多数の参加協力ありがとうございました。

新白岡悠友会 体育環境部



《防災コーナー》

『地震・火災・台風など災害のポスターを募集します』

防災・防犯・交通部

昨年、白岡町の防災訓練に自治会として参加した関係で自治会独自の防災訓練を行わなかったところ、多くの皆様から「何故、訓練をしないのか」といった質問や意見を受けました。今年は従来どおり、住民の皆さんが主体となった「総合防災訓練」を10月20日(日)に行います。

住民の方、全員が「自分達の街は自分たちで守る」といった共通認識に立った参加型の訓練の開催を計画しています。

そこで、これからの街の将来を背負って頂く子供さん達(大人の方も可)に地震・火災・台風などで感じたこと何でも結構です。学校の週休2日制、夏休みを活用しお父さんお母さん、お祖父さんお祖母さんと協力し合って防災訓練に参加したくなるようなポスター作りに取り組んで頂くことをお願いします。

ポスターを見たたくさんのお友だちや、家族の方が参加したくなるようなアイデアあふれるものを待っています。皆さんがつくってくれたポスターは、人通りの多い場所に張り出すなど活用させていただきます。

【ポスターの作成等について】

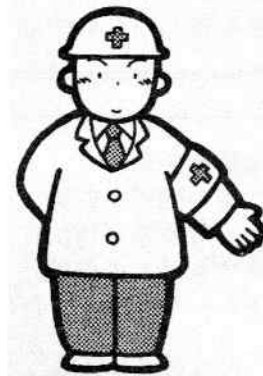
1. ポスター用紙の渡し日時・場所
 - (1) 8月10日(土) 10:00~12:00
 - (2) 事務局(二丁目センタープラザ)まで取りに来て下さい。
2. ポスター提出日時・場所
 - (1) 9月14日(土) 10:00~12:00までに提出して下さい。
 - (2) 事務局(二丁目センタープラザ)
3. ポスターは、自由に描いて頂きますが次の文字は忘れず入れて下さい。
 - (1) 防災訓練日時・・・10月20日(日)10時開始
 - (2) 場 所・・・かじや酒店裏

※ポスターの裏に、住所・氏名・電話番号・学年を書いて下さい。

ポスターづくりに参加してくれた皆さん全員に粗品を差し上げます。

*問い合わせ先 自治会事務局 (93-5133)

*責任者 飯塚副会長 (92-6347)



《趣味の会・サークルコーナー》

*平素自治会集会所を定期的にご使用されている趣味の会・サークルをご紹介します。ご興味をお持ちの方、入会ご希望の方、是非一度、会場へお越しください。又何かの発見が有るかとも思います。

【定期的に集会所で催しをされている趣味の会・サークル】

広報部

番号	会・サークル名	場 所	曜日・時間	責任者	TEL
1	押花教室	サウス	第1・3月 10:00~	小松崎テイ子	93-2214
2	書道	センター	毎週月 15:00~	矢野 圭子	92-7770
3	ハンドベル「ティンカーベル」	センター	毎週火 10:00~	清水 由美子	93-1080
4	手芸	サウス	毎週火 15:00~	澤村 康子	92-7794
5	ヨーガ	サウス	毎週火 10:00~	日昔 美千代	93-2279
6	悠友会 詩吟クラブ	サウス	第1・3水 13:00~	山形 恭子	92-7107
7	悠友会カラオケクラブ	センター	第2・4水 13:00~	石野 尋雄	92-4829
8	フラワーアレンジメント教室	センター	第2水 10:00~	雨宮 裕美	93-3169
9	モダンバレエ	センター	毎週水 15:00~	河本 園生	93-6420
10	学習教室	サウス	毎週木 15:00~	高倉 進一	93-2859
11	フラワーアレンジメントサークル	センター	第4木 10:00~	小松 静江	93-3059
12	書道サークル	センター	第1・3木 10:00~	柳沢 幸子	92-7584
13	健康リズム体操	センター	毎週金 10:00~	野沢 純子	93-1419
14	バレエ	サウス	毎週金 15:00~	中野 克映	93-6108
15	生花「花みずき会」	センター	第1・3金 13:00~	森 理昌	92-8427
16	パッチワークサークル「えん」	サウス	第3金 9:30~	菊池 まゆみ	93-4985
17	悠友会絵画クラブ	サウス	第1・3土 10:00~	吉原 千秋	92-9025

“我が故郷”

早川 悌子

開港148年の歴史を持つ函館は、北の玄関口と言われ、青函連絡船が就航していた頃、大きなリュックを背負った、カニ族と呼ばれた若者で函館駅前を賑わっていました。又、北洋漁業の根拠地でもあったので、満艦飾の船団で、港がいっぱいになった光景は、幼心に強く焼き付いています。

函館駅前の繁華街で育った私は、春は、五稜郭でお花見。夏は、立待岬で海水浴。秋は、山菜取りが好きだった母と木古内の山へきのこ取り。冬は函館山の千畳敷で、眼前の津軽海峡に飛び込む勢いで滑るスキーを楽しんだものです。

今年は母の七回忌。外人墓地の先を少し登った見晴らしの良い墓地に眠る両親に会いに行きます。観光で生きる函館は、大きく変わりました。昔は、電車通り添いにくっきりと光のラインが美しかった百万ドルの夜景も、今は、「光の絨緞」がキャッチフレーズです。うら寂しかった倉庫群は、ネオン目映い“ベイ・ハコダテ”に。駅前周辺の住民が日常的に利用していた朝市も観光客が対象になりました。

今も変わらないのは、いか釣り船の漁火だけかも知れません。



《編集後記》

仕事の関係で白岡に移り住んで3年が経ちました。当初、白岡という地名も知らず、なんとなくニュータウンの町並みにひかれて住むことになりました。自然も多く、静かなこの町はとても暮らしやすく、子供にとっても最高の環境だと思います。

また、今年度自治会の班長をまかされることになり、各種会合などに参加することになり、ニュータウンをよりよく知ることができるようになりました。この住み良いニュータウンの環境は各役員さんをはじめ班長さんや住民の皆さんががんばってつくられてきたものだと感じております。さらにいい町としていくため、みなさん力をあわせてがんばっていきましょう。
(松岡)

最近、電話で近況報告したり、Eメールで孫の写真もおくられたり、手紙を書く事も殆どなくなりました。図らずも広報担当となり、暫くは、国語辞典と親しく付き合うことになりそうです。

(早川)

編集委員となって、広報に関わることになりましたが、朝早く出て、夜遅く帰り、主婦を兼ねる生活のため、ほかの委員の皆さんにご迷惑ばかり掛けているのが心苦しいのですが、委員の皆さんが、優しくカバーしてくれているのです。それに甘えている自分を反省しています。頑張りますので、原稿提出等でご協力をお願いします。

(加藤)

サムエル・ウルマンの『青春の詩』をふと思い出しました。“青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。……歳を重ねるだけでは人は老いない。理想を失う時に初めて老いる。歳月は皮膚にしわを増やすが、情熱を失えば心はしぼむ……”私の好きな「サムエル・ウルマン」の『青春の詩』からの引用です。

以前産経新聞のコラムで読んだ記憶が有りますが、作家の宇野千代さんや池坊の家元の家に生まれ育った塩月さんはこの青春の歌からの影響でしょうか、老いて、ますますと言ったような自らの実践記を書いてヒットを飛ばしたような記憶が有ります。この二人の作家の本を読んだ後、『人生いつだってこれから』というフレーズが私の心に刻み込まれた言葉となりました。7月9日、白岡東小の生徒達と草取りをしました。子供達に接し、子供達の元気な姿に感動しました。心の青春を求め、体の健康を求め、この夏を元気に過ごしたいと考える昨今です。

(岡本)

当ニュータウンへの入居が開始されたのは昭和62年、あれから15年が経ちます。最近子供の数がめっきり減り、そのうち「オールドタウン」化するのではないかとささやかれもしていますが、自分としては今は単なる「過渡期」ではないかと思えます。つまりちょうどあの頃の幼・小・中の子供たちが成人になる時期に過ぎないと考えています。

都心への通勤通学に不便はなく、自然にも恵まれている環境のよい地区ですから、成人となった若者たちが引き続きぜひこのタウンに住みたいと願うような魅力ある街づくりに貢献したいと願っております。その意味では今号で高校生の方から投稿していただくことができとても意義深く感じています。今後も今まで以上に幅広い層、特に高校生～社会人5年目まで位の方の感想・意見を多くとり入れ、より活気ある紙面作りに励みたいと考えております

(田村)